

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公表番号】特表2010-515532(P2010-515532A)

【公表日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2010-019

【出願番号】特願2009-545603(P2009-545603)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/38 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/38

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月7日(2011.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 取付け部が形成された第 1 膝プロテゼコンポーネントと、
ステム係合部を規定する少なくとも第 1 ステムと、
第 1 軸を規定する第 1 アダプタ係合部および第 2 軸を規定する第 2 アダプタ係合部を有する第 1 アダプタとを有し、
第 1 軸および第 2 軸が平行であり、かつオフセットしており、
第 1 取付け部が、ステム係合部または第 1 アダプタ係合部と手術中に結合するように操作可能であることを特徴とする膝関節プロテゼシステム。

【請求項 2】

第 1 膝プロテゼコンポーネントとは異なり、第 2 取付け部を有する、第 2 膝プロテゼコンポーネントをさらに有し、第 2 取付け部が、ステム係合部または第 1 アダプタ係合部と結合するように操作可能であることを特徴とする請求項 1 記載のシステム。

【請求項 3】

第 1 アダプタにおいて規定されるアダプタボアを通過する第 1 係止部材をさらに有し、第 1 係止部材が、第 1 ステムを第 1 アダプタに係止するように操作可能であることを特徴とする請求項 1 記載のシステム。

【請求項 4】

アダプタボアが螺刻され、第 1 係止部材が、非固定位置と固定位置との間で、アダプタボアに沿って螺合可能に進むことを特徴とする請求項 3 記載のシステム。

【請求項 5】

ステムに固定される挿入具をさらに有し、第 1 係止部材が、固定位置における界面領域にて挿入具と係合することを特徴とする請求項 4 記載のシステム。

【請求項 6】

第 1 係止部材が固定位置へ進むと、界面領域にて挿入具が変形するように、第 1 係止部材が挿入具よりも硬い材料で形成されることを特徴とする請求項 5 記載のシステム。

【請求項 7】

挿入具が円錐形ヘッドを規定し、第 1 係止部材が固定位置において円錐形ヘッドと係合することを特徴とする請求項 6 記載のシステム。

【請求項 8】

第 1 膝プロテゼにおいて規定されるプロテゼボアを通過する第 2 係止部材をさらに有し、第 2 係止部材が第 1 膝プロテゼを第 1 アダプタに係止するように操作可能であり、第 1 係止部材および第 2 係止部材が実質的に等しいことを特徴とする請求項 4 記載のシステム。

【請求項 9】

プロテゼボアが、大腿骨コンポーネントの大腿骨ボックスを通して規定されることを特徴とする請求項 8 記載のシステム。

【請求項 10】

プロテゼボアが、脛骨トレイのトレイ部を通して規定されることを特徴とする請求項 8 記載のシステム。

【請求項 11】

第 1 膝プロテゼが、第 1 取付け部が形成された大腿骨コンポーネントを有し、第 2 膝プロテゼが、第 2 取付け部が形成された脛骨コンポーネントを有し、第 1 アダプタ係合部が、第 1 取付け部または第 2 取付け部と手術中に結合するように操作可能であることを特徴とする請求項 2 記載のシステム。

【請求項 12】

大腿骨コンポーネントおよび脛骨コンポーネントがヒンジによって協働的に結合され、ヒンジが、アクスルの長さに沿って外方に付勢されるアクスルを含むキールを規定し、アクスルが、埋込み位置において大腿骨コンポーネントの大腿骨ボックス上に配置されるハブと係合することを特徴とする請求項 11 記載のシステム。

【請求項 13】

円錐形係合表面を有する通路をそれぞれが規定する複数のオーグメントをさらに有し、複数のオーグメントのそれぞれが、大腿骨コンポーネントの上方延在部または脛骨コンポーネントの下方延在部と結合するように操作可能であり、円錐形係合表面が、アSEMBル位置においてモールド型テーパ適合を形成するように、上方延在部、または下方延在部と協働することを特徴とする請求項 11 記載のシステム。

【請求項 14】

複数のオーグメントがそれぞれ、円錐形係合表面を通る取付け軸を規定し、複数のオーグメントが、第 1 ステップを規定する第 1 オーグメント、および第 2 ステップを規定する第 2 オーグメントを有し、第 1 オーグメントおよび第 2 オーグメントが、大腿骨コンポーネントまたは脛骨コンポーネントに対して所望の位置に位置するように、取付け軸周りに回転するように操作可能であり、第 1 オーグメントおよび第 2 オーグメントが、個々に、または組合せて使用することが可能であり、第 1 オーグメントおよび第 2 オーグメントが組合せて使用される場合、第 1 ステップおよび第 2 ステップが係合することを特徴とする請求項 13 記載のシステム。

【請求項 15】

複数のステムをさらに有し、それぞれのステムが、ステム係合部を有し、異なる長さを規定し、各ステム係合部が、上方延在部に形成される第 1 雌型先細受入部または下方延在部に形成される第 2 雌型先細受入部と結合するように操作可能であることを特徴とする請求項 13 記載のシステム。